

SHASE 100 周年イベント

空衛学会東北支部地区講演会・空衛学会東北支部第6回学術・技術報告会特別セッション 「東北地方におけるスマート設備システムへの期待」

日 時：平成 29 年 3 月 14 日（火）15:30～17:00

場 所：東北学院大学多賀城キャンパス 工学基礎教育センター

(<http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/campusmap/tagajo.html>)

※アクセス JR 仙石線「多賀城駅」から徒歩約 7 分 JR 東北本線「国府多賀城駅」から徒歩約 15 分。

参加費：無料

将来的な人口減少を見越してのコンパクト・シティや、新たな地域基盤を期待してのスマート・コミュニティ形成が、東日本震災後に各地で試行されています。特に後者は ICT・IoT といった先端技術の社会実装に他なりません。その目的、適用、実態、将来像等々、必ずしも詳らかでない印象があります。本シンポジウムは、スマート・コミュニティの実践に取り組んでおられる方々にその取り組みや考えを解説いただき、設備システムのスマート化に技術者が果たすべき役割や、スマート化がもたらす東北の未来等々を多面的に議論することで、東北地方におけるスマート・コミュニティに関わる今後の課題と対処の方向性、そしてその意義を共有する場とするものです。関係諸兄姉の活発な議論を期待します。当日は同会場で第 6 回学術・技術報告会も開催されていますので併せてご参加くださいますようお願い申し上げます。

プログラム (司会 松木石二 (事業委員会))

1. 開会挨拶 小林光 (学術・技術報告会組織委員長・東北大学)
2. 主旨説明 渡邊浩文 (事業委員会幹事・東北工業大学)
3. 主題解説
 - 1) 「諸外国の取り組み」菅健太郎 (Arup 東京事務所)
 - 2) 「『エコ』と『防災』～東松島市の復興まちづくり～」石垣亨 (東松島市復興政策部)
 - 3) 「東北地方におけるスマート設備システムへの期待 ―地域の未来・設備・技術者―」
内海康雄 (東北支部長・仙台高等専門学校)
4. ディスカッション
コーディネーター：渡邊浩文 (前掲)
パネリスト：石垣亨 (前掲)，菅健太郎 (前掲)，内海康雄 (前掲) ほか
5. 閉会挨拶 赤井仁志 (副支部長・福島大学/北海道大学)

※申し込み不要。受付をして会場へお入りください。

詳細は空衛学会東北支部ホームページにて
<http://tohoku.shasej.org/>

空気調和・衛生工学会 東北支部第 6 回学術・技術報告会実行委員会
TEL 022-221-9042 FAX 022-221-9243
E-mail tohoku.shase@gmail.com